

気象庁震度階級解説表(2009.3.31)

参考URL: <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/shindokai.html>

計測震度	震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況	建物の状況		地盤、斜面の状況	ライフライン・インフラ等への影響				大規模構造物への影響
					耐震性が高い	耐震性が低い		ガス、水道、電力	鉄道、道路	電話等	エレベーター	
<0.5	0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.5 <1.5	1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.5 <2.5	2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.5 <3.5	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。	-	-	-	-	-	-	-	-
3.5 <4.5	4	ほとんどの人が驚く、歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転している人が、揺れに気がつく人がいる。	-	-	-	-	-	-	-	-
4.5 <5.0	5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。	【木造(住宅)】壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	【地盤】亀裂や液化が生じることがある。 【斜面】落石やげ崩れが発生することがある。	-	-	-	-	-	-
5.0 <5.5	5強	大半の人が、物につかまれないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多い。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。	【木造(住宅)】壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	【地盤】地割れが生じることがある。 【斜面】げ崩れや地すべりが発生することがある。	-	-	-	-	-	-
5.5 <6.0	6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。	【木造(住宅)】壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	【木造(住宅)】壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	【ガス供給】安全装置のあるガスメーター(マイコンメーター)では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある。	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。(安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。)	-	-	-	-	
6.0 <6.5	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	【木造(住宅)】壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	【水道、電力】震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。	震度5弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。	-	-	-	-	-
6.5	7	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばすこともある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばすこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	【木造(住宅)】壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	【木造(住宅)】壁などに大きなひび割れ・亀裂がみられるものがある。傾くものや、倒れるものがある。 【RC】壁、梁、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。	【水道、電力】震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。	震度5弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。	そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。	-	-	-

地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況(ふくそう)が起こることがある。

【石油タンクのスロッシング】
長周期地震動により石油タンクのスロッシング(タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象)が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。

【大規模空間を有する施設】
体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

【エレベーター】
エレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

【鉄道、道路】
鉄道、道路は、震度4程度以上の揺れがあった場合には、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。(安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。)

【ガス供給】
安全装置のあるガスメーター(マイコンメーター)では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある。

【水道、電力】
震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。